

かわらばん すまし屋 ハウス

2022-2
VOL.
272

発行
有限会社
大和久建築
TEL 0475 (22) 4148
茂原市高師 4 7 6

物資不足と物価急騰に嘆きながらも平穏な暮らしがある一方で、世界の裏側には資源や廃棄場所確保のために勃発する紛争や森林破壊、先進国の犠牲となり過酷な労働や飢餓に曝されている民や地のあることは、看過することのできない事実でしょう。

☆今月の一言【虎を描きて狗に類す】力量のない者が優れた人のまねをしてかえって軽薄になること。また、目標が大きすぎて失敗すること。困難な目標であるほど成し遂げた時の達成感は一入ですが、達成可能な目標設定の積み重ねが大切でしょう。

みるきくまなぶ 交遊録

名勝やパワースポットは多くの関心を寄せるもので、その写真が縁起物として扱われることは少なくありません。元々神聖な神社仏閣などはもとより、初日の出も立派なパワースポットと言えるのではないのでしょうか。

離島を除く日本の沿岸で最も早い時間に初日の出を迎えられる千葉県銚子の犬吠埼。パワースポットとしても有名で、一度は拝観をというちょっとした好奇心から2008年(子年)初日の出参りを決行！最初は単年のつもりが… 犬吠埼初日の出参り14年間の軌跡を紹介します。



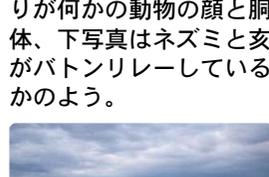
丸角縁なし写真はお客さまや職方・知人に配布したもの。2011年以降の配布数は350枚以上。

犬吠埼までの交通手段は自転車。理由は、初日の出という神聖な恩恵を拝みに行くのに車で排ガスを撒き散らしていくことに違和感を覚え、また現地での交通渋滞が予想されたこと。案の定、灯台4~5km手前から車だと辿り着けたか分からないほどの渋滞が…。とはいえ茂原の自宅からは片道70km強の長丁場、容易に辿り着ける訳もなく貴重？な体験は数多。

1年目、無謀にも走行ペースや防寒の要領も分からず出発。飯岡までの約55kmは平坦であるもののその先は山越え。当時体重81kg以上あり4・5回繰り返す上り下りは全て登り切れず自転車を引くことに…。到着後汗まみれで着替えも用意していなかったため、日の出までの約2時間、極寒での日の出待ちという大失態。気温はおそらく氷点下。とにかく寒い！

日の出前、海岸線から沸き立つ雲の形状変化観覧も楽しみの一つ。2008年(子年)撮影の右上2枚の縁ぼかし写真は動物のように見え、特に下の写真赤丸内は子(ネズミ)と亥(イノシシ)のバトンリレーのようにも映り実に愉快。年回りと合致したのは何かの偶然か？

2年目、1年目の失敗で「このままでは終われない」と再挑戦。一念発起し18kgの減量を 右ページへ続く



2011年の波の様子。波は一定間隔で平行に。



試み挑んだ結果、飯岡から先の上り坂は自転車を一度も降りることなく走破！防寒対策は如何にか斯うにか。

3年目、筆者の十二支の一つ「寅年」。本当は前年でやめるつもりが、当然「これは行かなければ」となる。この年帰宅後「どうせなら12年分揃えよう」と発奮。2度の曇り空を含めた本当の14年間の始まりです。

4年目、初めてほぼ水面から顔を出す日の出に遭遇。北方向からは一定間隔で平行に波立つという不思議な現象が… (左上縁ぼかし写真)。この年2011年、東日本大震災の前兆を示していたかもしれません。

5年目以降、体力維持や準備等の要領を得るもの時に慢心が思わぬ事態を…。坂が上り切れなかったことも2・3度、ある年は帰路に自転車を降り縁石に座り眠ってしまった、その年帰宅3日後38.9°の発熱で数日間休眠。最大の事件は2016年、往路約45km付近で路地から飛び出してきた新聞配達バイクと激突！ハンドルが曲がったまま残り90km以上走行、帰宅後肋骨骨折が判明し約2カ月辛い思いを…。そんな中、前日府中を出発し房州一周後辿り着いた、川崎から約130km走ってきたという強者の青年らとの出会いなどもあり、人との触れ合いという愉楽もあり。

14年目、最終年を飾るに相応しいこれとない日の出に加え、さらに日の出前の雲には龍？の頭が！(右最下縁ぼかし写真)。

十数人に写真を見せると約7割が龍やドラゴンと回答。他麒麟・馬など。縁起の良い光景で締めくくれたことは何よりの収穫。大自然の恵みに感謝！他にも話は尽きませんが、何かと危険も伴うので12枚揃ったところで一区切りとし終了します。日の出写真配布に替わる新たな目標を見出し、お客様へのサービスにつなげられればと考えております。

「ぎつがくの庭」 恵方巻文化が関東圏に広まる中、やはり節分と言えば豆まき。「福は内鬼は外」の声があまり聞かれなくなったことは一寸寂しい気がします。

江戸時代より伝わる豆まき、その意味は「穀物には生命力と魔よけの呪力が備わっている」。「鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い一年の無病息災を願う」。

豆まきは何故炒った豆でなければならないのか。節分の豆は厄災を負って捨て払うもの。撒いた豆から芽が出てきたら折角追い払った厄災や邪気が再び襲い掛かり豆まきが不意になってしまう。そのため芽が出ない炒った豆を使うのだそうです。

答え 1. あおる 2. うろつく 3. けんこん 4. なるべく 5. くえんさん

読めますか？

1. 呷る
2. 彷徨く
3. 乾坤
4. 可成
5. 枸橼酸

ヒント すっぱ！

次号をお楽しみに